
交通事故撲滅への取り組み

エコ安全ドライブの推進

～安全はすべてに優先する～

➤社内ドライバーコンテストの実施(天然ガス自動車使用)



- ・安全運転に対する意識を高め、環境にやさしいエコドライブの履行、運送の安全確保におけるプロドライバーの育成
- ・佐川急便グループ約25,000名のドライバー全員が予選を行い、社内の研修施設で毎年コンテストを実施エコドライブは重要な審査項目

➤「セーフティ・レコーダ」の導入

ドライバーの安全運転教育や事故の未然防止策、エコドライブ実践等の一環として利用することを目的に、「セーフティ・レコーダ」を導入



安全運転 徹底7項目

- 1 安全運転の意識を高め、安全運転の徹底を促す
- 2 安全運転の意識を高め、安全運転の徹底を促す
- 3 安全運転の意識を高め、安全運転の徹底を促す
- 4 安全運転の意識を高め、安全運転の徹底を促す
- 5 安全運転の意識を高め、安全運転の徹底を促す
- 6 安全運転の意識を高め、安全運転の徹底を促す
- 7 安全運転の意識を高め、安全運転の徹底を促す

安全運転の意識を高め、安全運転の徹底を促す

安全運転の意識を高め、安全運転の徹底を促す

さがわきゅうびん交通安全教室

子どもたちを交通事故から守るために、全国で「さがわきゅうびん交通安全教室」を展開



2003年より「未来ある子どもたちの生命を悲惨な事故から守る」をテーマに全国展開を開始

【2005年度実績】

実施回数: 720回

参加人数: 111,512名

- 横断歩道の渡り方
- トラックの死角体験
- 安全確認 など

「交通安全紙しばい」を寄贈

「さがわきゅうびん交通安全教室」で培ったノウハウを活かして幼稚園向け交通安全指導キットの制作に協力

全国約7,400ヶ所の幼稚園へ寄贈



都市内物流の現状課題

■街区や大型商業施設において、消費者や勤労者など人の動線が優先され、物流に必要な機能が充足していない

■街自身が物流ボトルネック化の原因となっている
(道路・駐停車エリア・車両回転エリア・待機エリア・荷捌エリア・施設の物流許容度)
⇒ 街づくりにおいて道路や建物に物流許容量の計算がされていない
⇒ 道路や接道条件に応じた貨物車両の動線・移動量が予測されていない

■出荷先のコスト負担によって手配された運送のため、納品時に特別の運送方法や運用を求めても運送会社自身にコスト負担の余力はない

■二次物流の衰退

